

(別記第1号様式)

生産集団登録申請書(記載例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

生産集団名 : 〇〇〇〇クリーン農業グループ
代表者名 : 〇〇〇〇〇 印
連絡先住所 : 〇〇郡〇〇町〇〇条〇〇丁目〇ー〇
電話番号 : 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

北のクリーン農産物表示要領第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり登録を申請します。

記

- 1 表示を行う農産物 〇〇〇〇〇〇
- 2 添付書類
 - (1) 生産・出荷実績ならびに計画書
(別記第2号様式)
 - (2) 生産集団の規約 別添(様式任意)のとおり
 - (3) 栽培基準
ア 栽培基準で定めるべき共通事項(第5条関係) (別紙1)
イ 要領第5条第1項の規定に基づき、別紙1の共通事項のほか、生産集団が所在する地域の条件や表示を行う農産物の特性等に応じて必要な事項を定めた栽培基準。
 - (4) 栽培協定書 (参考資料1)
 - (5) その他参考資料
 - ①市町村クリーン農業推進協議会規約および構成組織一覧表 (別紙2)
 - ②生産集団が定めたYES! clean栽培基準表 ※任意提出
 - ③土壌診断書 ※出所が明確なこと
 - ④肥料成分保証書 ※出所が明確なこと
 - ⑤市町村クリーン農業推進協議会等における協議経過 (別紙3)

(別記第2号様式)

令和〇〇年産 生産・出荷実績 並びに (記載例)
令和〇〇年産 生産・出荷計画書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

生産集団名 〇〇生産組合クリーン部会
代表者名 〇 〇 〇 〇 印

1 表示対象農産物名

登録番号※		〇〇〇－〇〇－〇〇
表示対象農産物名		〇〇〇〇〇〇〇
作型名	肥料・化学肥料	〇〇〇〇〇〇〇
	化学合成農薬	〇〇〇〇〇〇〇

※ 新規登録の場合記入しない

2 生産・出荷実績並びに計画

区 分	令 和〇〇年 産 実 績	令 和〇〇年 産 計 画
① 作付面積	124.37 ha	135.35 ha
② 生産量	48 t	50 t
③ 出荷量	42 t	45 t
④ 構成員数	17 名	18 名
⑤ 出荷期間	〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 〇〇年〇〇月〇〇日
⑥ 出荷先別出荷量 〔市場、量販店等 できるだけ具体的に記入〕	〇〇市場 500 t 〇〇加工製造会社 300 t 〇〇スーパー 300 t 〇〇食品 100 t	〇〇市場 500 t 〇〇加工製造会社 350 t 〇〇スーパー 350 t 〇〇食品 100 t
⑦ ③の実績の出荷量が「0」の場合はその内容、経過、措置（対象農産物の処理内容）		

- ※1) 登録申請時においては、表示を行う年の前年の実績を記入
※2) 水稻等出荷期間が長期間にわたる作物については、見込みを含むものとする
※3) 実績欄の構成員数は次項6の「継続+脱退」と、同計画欄は「継続+加入」と一致する
※4) ⑦の報告をもって「事故発生報告書」の提出に替えることができる

3 証票使用

(単位：枚)

区 分	令 和〇〇年 産 実 績 ※			令 和〇〇年 産 計 画		
使用期間	〇〇年〇〇月 ~ 〇〇年〇〇月			〇〇年〇〇月 ~ 〇〇年〇〇月		
表示手段	シール	印 刷	その他	シール	印 刷	その他
使用量		35,250			38,000	

※ 新規登録の場合記入しない

4 管理体制

1	代 表 者		摘 要	備考
	氏 名	○ ○ ○ ○	継続 変更	役員改選
	住 所	イエス市クリーン町1丁目1番地		
	電 話 番 号	012-345-6789		
2	生産管理責任者		摘 要	備考
	所属・役職	○○○○生産組合副会長	継続 変更	
	氏 名			
3	集出荷管理責任者		摘 要	備考
	所属・役職	○○○○農業協同組合 販売部青果課長	継続 変更	異動
	氏 名			

- ※1) 代表者、生産管理責任者、集出荷管理責任者が変更（本様式提出時）となった場合、本様式提出をもって、上記代表者・責任者の「登録事項等変更届」に替えることができる
- ※2) 代表者・責任者に変更が無い場合は摘要欄の「継続」を、変更がある場合には同「変更」をそれぞれ○で囲み、備考欄には変更理由を記入（役員改選、異動、組織名変更等）
- ※3) 生産管理責任者、集出荷管理責任者が当て職となっている場合は、氏名欄の記入は不要

5 集出荷・保管等の取組

取 組 内 容	
(※他の農産物と混合しないような集出荷・保管 生産者番号により、生産者毎に分別管理（集	1. 同じ行の氏名欄の左右には、同一の氏名を記入 （空白欄を詰めない） 2. 「親⇒子」、「夫⇒妻」等の経営継承の場合でも 同一行としない（親・夫の脱退、子・妻の加入） 4. 本様式提出時以外に構成員が変更となった場合は、 「生産集団構成員変更届」の提出が必要

6 構成員別作付実績・計画

令和 年 産 実 績			令和 年 産 計 画		区 分			栽培 協定
氏 名	作付面積		氏 名	作付面積	継続	脱退	加入	
1	○○ ○○	1,250	○○ ○○	1,220	○			
2	○△ ○△	1,650	○△ ○△	1,580	○			
3	□○ △○	860	□○ △○		○			
4			△□ □○	530			○	✓
5	○□ ○△	1,450	○□ ○△	1,350	○			
6	□□ ○△		□□ ○△	530	○			
7	△△ □○	532				○		
8			△△ ○□	420			○	✓
9	□□ ○○	1,235	□□ ○○	1,220	○			
10	△○ □○	465	△○ □○	530	○			
11	○△ △○		○△ △○	485	○			
12	□□ □□	850	□□ □□	780	○			
13			△□ ○□	380			○	✓
14	○□ □○	955	○□ □○	930	○			
15	△□ △○	455	△□ △○	420	○			
16	□○ □○					○		
17	○○ □□	1,550	○○ □□	1,380	○			
18	□△ ○□		□△ ○□	430	○			
19	△○ □□	650	△○ □□	720	○			
20	○□ □△	535	○□ □△	630	○			
合 計		12,437	合 計	13,535	15	2	3	3

- ※1) 人数が多い場合は別紙で整理
- ※2) 区分欄の該当する欄に「○」を記入
- ※3) 本様式提出をもって、「生産集団構成員変更届」に替えることができる
- ※4) 上記3の場合、新規加入構成員と当該生産集団とにおいて栽培協定が締結されていることを確認した場合、栽培協定欄にチェック「✓」を入れる

(別記第4－1号様式)

生産集団登録申請書の進達について（記載例）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

〇〇市(町村)クリーン農業推進協議会会長 印

下記の生産集団の登録申請について、北のクリーン農産物表示要領第8条第2項の規定に基づき、進達します。

記

- 1 生産集団名
（代表者名）**〇〇〇〇米生産組合
（代表者:〇〇〇〇）**
- 2 表示を行う農産物 **〇〇〇〇〇〇**
- 3 進達書類
 - （1）生産集団登録申請書 （別記第1号様式）
 - （2）生産・出荷計画書 （別記第2号様式）
 - （3）生産集団の規約 （※任意様式）
 - （4）栽培基準
 - ア 栽培基準で定めるべき共通事項（第5条関係） （別紙1）
 - イ 〇〇〇〇米生産組合YES!clean栽培基準表
 - （5）栽培協定書 （参考資料1）
 - （6）その他参考資料
- 4 添付書類
 - （1）市町村クリーン農業推進協議会等構成組織一覧（別紙2）
 - （2）市町村クリーン農業推進協議会等における協議経過（別紙3）

(別記第4-2号様式)

生産・出荷実績並びに計画書の進達について（記載例）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

〇〇市(町村)クリーン農業推進協議会会長 印

下記の生産集団の生産・出荷実績並びに計画書について、北のクリーン農産物表示要領第13条第2・3項の規定に基づき、進達します。

記

- 1 生産集団名 ○○○○○○○○○○○○○○○
- 2 登録番号 ○○○-○○-○○
- 3 表示を行う農産物 ○○○○○○○○○
- 4 進達書類
- (1) 生産・出荷計画書 (別記第2号様式)
- (2) 栽培基準
- ア 栽培基準で定めるべき共通事項(第5条関係)～(別紙1)
- イ 生産集団YES!clean栽培基準(※任意添付)
- (3) その他参考資料

(別記第4－3号様式)

栽培基準変更申請書の進達について (記載例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

〇〇市(町村)クリーン農業推進協議会会長 印

下記の生産集団の栽培基準変更申請について、北のクリーン農産物表示要領第10条第1項の規定に基づき、進達します。

記

1 生産集団名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

2 登録番号 〇〇〇-〇〇-〇〇

3 表示を行う農産物 〇〇〇〇〇〇〇〇

4 進達書類

(1) 栽培基準変更申請書 (別記第8号様式)

(2) 生産・出荷計画書 (別記第2号様式)

(3) 栽培基準

ア 栽培基準で定めるべき共通事項(第5条関係)～(別紙1)

イ 生産集団YES!clean栽培基準(※必須添付)

(4) その他参考資料

5 変更承認が栽培開始に間に合わない場合の扱いについて

変更申請内容を確認・検討した結果、変更承認が栽培開始に間に合わない場合、変更承認前に栽培開始することがやむを得ないと認められますので併せて進達します。

☐ 上記事項を確認しました(確認した場合、□内に✓を入れる)

6 添付書類

(1) 市町村クリーン農業推進協議会等における協議経過(別紙3)

(別記第6号様式)

登録事項等変更届(記載例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

生産集団名 : 〇〇〇〇クリーン生産組合

代表者名 : 〇〇〇〇 印

連絡先住所 : 〇〇郡〇〇町〇〇条〇丁目〇〇番地

電話番号 : 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

北のクリーン農産物表示要領第9条第2項の規定に基づく登録事項について、下記のとおり変更します。

記

1 登録番号 第〇〇〇-〇〇-〇〇号

2 表示対象農産物名(作型名)

表示対象農産物名	〇〇〇〇〇〇
作型名	肥料・化学肥料 〇〇〇〇
	化学合成農薬 〇〇〇〇〇〇

3 変更の内容

項 目	変 更 前	変 更 後
① 〇〇〇〇〇〇	・ 〇〇〇〇〇	・ 〇〇〇〇〇
② 〇〇〇〇	・ 〇〇〇〇〇	・ 〇〇〇〇〇

4 変更の理由

- ① 〇〇〇〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。
- ② 〇〇〇〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

(別記第7号様式)

登録農産物生産中止届(記載例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

生産集団名 : 〇〇〇〇クリーン生産組合

代表者名 : 〇〇〇〇 印

連絡先住所 : 〇〇郡〇〇町〇〇条〇丁目〇〇番地

電話番号 : 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

北のクリーン農産物表示要領第9条第2項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 登録番号 第〇〇〇-〇〇-〇〇号

2 表示対象農産物名(作型名)

表示対象農産物名	〇〇〇〇〇
作型名	肥料・化学肥料 〇〇〇〇〇〇〇〇
	化学合成農薬 〇〇〇〇〇〇〇〇

3 中止の理由

・〇〇〇〇〇〇〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

4 今後の予定(※生産再開に向けた今後の予定を記入)

・〇〇〇〇〇〇〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。

(別記第8号様式)

栽培基準変更申請書 (記載例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

生産集団名：〇〇〇〇クリーン生産組合
代表者名：〇 〇 〇 〇 印
連絡先住所：〇〇郡〇〇町〇〇条〇〇丁目
電話番号：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

当生産集団の栽培基準を変更することについて、北のクリーン農産物表示要領第10条第1項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

1 登録番号 第〇〇〇-〇〇-〇〇 記

2 表示対象農産物名 (作型名)

表示対象農産物名	〇〇〇〇〇
作型名	肥料・化学肥料 〇〇〇〇〇〇〇
	化学合成農薬 〇〇〇〇〇〇〇

3 変更の内容

項 目	変更前・削除品目	変更後・追加品目
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇

注) 変更承認を受けるまでの期間内は、更なる栽培基準の変更は行わない。

4 変更の理由

・〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇
・〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇

5 添付書類

- (1) 変更後の栽培基準 (別紙1)
- (2) その他関係資料 (農薬登録内容、肥料チラシ等)

6 変更承認が栽培開始に間に合わない場合

変更承認が栽培開始に間に合わない場合は、下記の事項を了承のうえ、変更承認前に栽培開始することを届け出ます。

☐ 下記事項を了承します (了承の場合□内に✓を入れる)

変更承認前に栽培を開始する場合の条件

登録集団は変更した栽培基準が、道協議会の審査の結果、適当と認められず、当該作物にYES!clean表示ができなくなる場合においても異議がない。

(別記第9号様式)

栽培協定変更申請書 (記載例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

生産集団名 : 〇〇〇〇クリーン生産部会

代表者名 : 〇〇〇〇

印

連絡先住所 : 〇〇郡〇〇町〇〇条〇番地

電話番号 : 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

当生産集団の栽培協定を変更することについて、北のクリーン農産物表示要領第10条第1項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1 登録番号 第〇〇〇-〇〇-〇〇号

2 表示対象農産物名 (作型名)

表示対象農産物名	〇〇〇〇〇
作型名	肥料・化学肥料 〇〇〇〇〇〇〇〇
	化学合成農薬 〇〇〇〇〇〇〇〇

3 変更の内容

項 目	変 更 前	変 更 後
〇〇〇	〇〇〇〇・・・・・・・・・・。	〇〇〇〇・・・・・・・・・・。

4 変更の理由

〇〇〇〇〇・・・・・・・・・・。

5 添付書類

(1) 変更後の栽培協定書

(2) その他関係資料 ※添付例

①協議経過報告書(写)

②GAPチェックシート(写)

(別記第 1 1 号様式)

生産集団構成員変更届(記載例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

生産集団名：〇〇〇〇クリーン農業グループ
代表者名：〇 〇 〇 〇 印
連絡先住所：〇〇郡〇〇町〇〇条〇〇丁目〇ー〇
電話番号：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

北のクリーン農産物表示要領第 1 0 条第 3 項の規定に基づき、下記のとおり構成員を変更します。
尚、新たに加入する構成員とは栽培協定を締結していることを誓約します。

記

1 登録番号 第〇〇〇-〇〇-〇〇

2 加入する構成員

氏 名	氏 名
〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇	
〇 〇 〇 〇	

3 脱退する構成員

氏 名	氏 名
〇 〇 〇 〇	
〇 〇 〇 〇	

(別記第14号様式)

事故発生報告書(記載例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

生産集団名：〇〇〇〇クリーン生産組合
代表者名：〇 〇 〇 〇 印
連絡先住所：〇〇郡〇〇町〇丁目〇番地
電話番号：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

北のクリーン農産物表示要領第13条第4項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 登録番号 第〇〇〇-〇〇-〇〇

2 登録年月日 〇〇年〇〇月〇〇日

3 表示対象農産物名

表示対象農産物名	〇〇〇〇〇〇
作型名	肥料・化学肥料 〇〇〇〇
	化学合成農薬 〇〇〇〇〇〇〇〇

4 事故等の内容

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

5 経 過

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

6 事故に対する措置

※対象農産物の処理内容等を記入

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

7 その他

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(別記第 15 号様式)

登 録 取 消 申 請 書 (記載例)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

北海道クリーン農業推進協議会会長 様

生産集団名：○○○○○○

代表者名：○ ○ ○ ○ 印

連絡先住所：〇〇郡〇〇町〇〇条〇丁目〇番地

電話 番 号 : 000-0000-0000

北のクリーン農産物表示要領第15条第2項の規定に基づき、登録を取消したいので申請します。

記

- 1 登録番号 第〇〇〇-〇〇-〇〇

- 2 登録年月日 ○○年○○月○○日

- 3 表示対象農産物名（作型名）

表示対象農産物名		〇〇〇〇〇〇〇〇
作型名	肥料・化学肥料	〇〇〇〇〇
	化学合成農薬	〇〇〇〇〇〇〇〇〇

- #### 4 取消の理由

0000000000000000

(別紙1)

栽培基準に定めるべき共通事項（第5条関係）（記載例）

登録番号	〇〇〇-〇〇-〇〇	生産集団名	〇〇〇クリーン農業グループ
------	-----------	-------	---------------

1 表示を行う農産物及び品種名

農産物名	水 稲	品種名	〇〇〇〇〇、〇〇〇〇
------	-----	-----	------------

2 作型

区 分	内 容 等			
作 型	肥料・化学肥料	中間地帯・低地土（乾）		
	化学合成農薬	うるち（移植）		
は 種 期	4 月	15 日	～	4 月 25 日
定 植 期	5 月	15 日	～	5 月 25 日
収 穫 期	9 月	15 日	～	10 月 1 日

注1) 作型には、登録基準で設定する作型を記入すること。

注2) 登録番号は栽培基準の変更の場合に記入すること。

3 土づくり技術・施肥管理

(1) 土づくり技術の概要

取 組 内 容
①暗渠、心土破碎・溝切による透排水対策の実施 ②稲わらの秋すき込みによる有機物施用と土づくりの実践

[堆肥等有機物施用量]

施用 種別	区分	堆肥等の種類	施用量・ 生産量(A)	窒素割合(B)	乾物率(B')	窒素換算 (A×B)	乾物量 (A×B')	係数	輪作 年数	年平均
①	堆肥	牛ふん敷料堆肥	1t/10a	1.0kg/10a	300kg/t	1.0kg/10a	300kg/10a	－		
②	窒素	発酵鶏ふん	100kg/10a	1.3kg/100kg	80kg/100kg	1.3kg/10a	80kg/10a	－		
⑤	窒素	マイフィッシュ	15kg/10a	7.0kg/100kg	95kg/100kg	1.1kg/10a	14kg/10a	－		
⑤	窒素	魚粕ペレット特号	20kg/10a	7.0kg/100kg	95kg/100kg	1.4kg/10a	19kg/10a	－		

[参考3] 堆肥等有機物施用量下限値の積算についてを参照して作成。下限値、上限値を超えないよう注意

(2) 施肥管理の概要

取 組 内 容
①土壌診断に基づく適正施肥 ②有機質肥料および堆肥による化学肥料の代替施用

水稻：湛水培養窒素 畑作物：熱水抽出性窒素
野菜（露地）：生土培養窒素または熱水抽出性窒素
野菜（ハウス）：硝酸態窒素

(3) 土壌診断(窒素供給力)の結果

分 析 項 目	分 析 値	総窒素施用量上限値 (kg/10a)	化学肥料施用量上限値 (kg/10a)
湛水培養窒素	6.2、9.3、9.4、9.7、12.4	8.5	7.0

注1) 分析項目には、「湛水培養窒素」「熱水抽出性窒素」「生土培養窒素」「硝酸態窒素」を記入する。

注2) 「総窒素施用量上限値」の欄には、登録基準に基づく上限値を記入する。

注3) 土壌診断結果を添付する。

注4) 土壌診断を複数行った場合は、最小値にアンダーラインを引く。

注5) 土壌診断を必要としない作物では、この欄の記入を必要としない。（登録基準「別表2」を確認すること。）

分析値と窒素肥沃度水準の分類表から、土壌窒素肥沃度（低、中（やや高）、高）を求めて、総窒素施用量上限値の表から数値を転記

(4) 使用肥料の概要

① 施用量総括表(窒素成分)

区 分		計 画	変更前栽培基準	備 考
化学肥料	窒素最大値 (A)	6.8 (kg/10a)	6.8 (kg/10a)	
	慣行レベル (B)	10.0 (kg/10a)	10.0 (kg/10a)	
	削減率 (B-A)/B	32 (%)	32 (%)	
総窒素最大値		8.0 (kg/10a)	8.0 (kg/10a)	

② 窒素施肥量が最大となる施肥パターン【計画】

	区 分	種類・銘柄名	最大使用量 (kg/10a)	窒素施用量 (kg/10a(N))		
				化学肥料 由来窒素	有機物肥料 由来窒素	計
化学肥料 最大値	化学肥料	水稲BB683	25	4.0		4.0
	化学肥料	水稲側条BB444	20	2.8		2.8
	有機物(堆肥)	牛ふん敷料堆肥	1,000		1.0	1.0
	計			6.8	1.0	7.8
総窒素 最大値	化学肥料	水稲BB484	35	4.9		4.9
	有機配合肥料	YB水稲O50	20	1.7	0.3	2.0
	有機物(窒素)	マイフィッシュ	15		1.1	1.1
	計			6.6	1.4	8.0

注1) 施肥パターンから、窒素値が最大(化学肥料・総窒素)となるものを記入する。

注2) 最大となるものが複数ある場合は、代表となるものを1つ記入する。

③ 使用銘柄(窒素成分を含有するもの)

区 分	種 類 ・ 銘 柄 名	化学肥料由来 窒素成分 (%)	有機由来窒素 成分 (%)	計 (%)
化学肥料 (窒素成分が、 化学肥料由来のみ)	水稲BB484	14.0		14.0
	水稲側条BB444	14.0		14.0
	水稲BB683	16.0		16.0
	窒素を含有するものを3区分し、総て記入する			
有機配合肥料 (窒素成分が、 化学肥料と有機物由来)	YB水稲050	8.5	1.5	10.0
	有機入り化成052	7.6	2.4	10.0
有 機 物 (窒素成分が、 有機物由来のみ (堆肥含む))	マイフィッシュ		7.0	7.0
	魚粕ペレット特号		7.0	7.0
	発酵鶏ふん		1.3	1.3
			0.1	0.1

注1) 変更承認申請の場合は、新たに栽培基準に定める有機配合肥料・有機物について窒素成分を確認できるものを添付すること

注2) 有機物については[参考1]堆肥等有機物の窒素換算量及び乾物量の目安より転記すること。

④ 土壌改良資材その他の資材

資材名(商品名)	用 途	使 用 量
ケイカル スーパーミネカル	ケイ酸の補給 ケイ酸の補給	60~180kg/10a 60~180kg/10a

注1) 「資材名」欄には、3の(4)②、4の(2)以外で生産過程等において使用するすべての資材を記入する。

注2) 変更承認申請の場合は、新たに栽培基準に定めるものについて「用途」、「使用量」等が確認できるものを添付すること。

4 防除技術
(1) 病害虫及び雑草防除

取 組 内 容									
①微生物農薬による種子消毒の実施 ②発生予測情報に基づき初発確認の段階で臨機防除の実施 ③すくい取り調査によるカメムシの発生状況確認と臨機防除の実施									

(2) 農薬の使用

① 化学合成農薬の使用回数(登録基準の別表3-1の2の農薬)

薬剤の化学合成成分数

防除に使用する化学合成成分数

項 目	基幹 臨機	計 画					変更前栽培基準(または前年実績)				
		対象病害虫等名	使用 時期	防除薬剤		成分 回数	対象病害虫等名	使用 時期	防除薬剤		成分 回数
				商品名	成分数				商品名	成分数	
殺虫剤	基幹	イネドロオイムシ	6下	キラップフロアブル	1	1	イネドロオイムシ	6下	キラップフロアブル	1	1
		イネドロオイムシ	6下	キラップ粉剤DL	1		イネドロオイムシ	6下	キラップ粉剤DL	1	
		イネドロオイムシ	6下	キラップ微粒剤F	1		イネドロオイムシ	6下	キラップ微粒剤F	1	
	臨機	カメムシ類	8上	スタークル液剤10	1	1	カメムシ類	8上	スタークル液剤10	1	1
		カメムシ類	8上	トレボン乳剤	1		カメムシ類	8上	トレボン乳剤	1	
		カメムシ類	8上	トレボンエア	1		カメムシ類	8上	トレボンエア	1	
殺菌剤	基幹										
	臨機	いもち病	5下	ルーチンフロアブル	1	1	いもち病	5下	ルーチンフロアブル	1	1
殺虫・殺菌剤	基幹	いもち病・カメムシ類	7中	ダブルカットKフロアブル	2	2	いもち病・カメムシ類	7中	ダブルカットKフロアブル	2	2
	臨機										
除草剤	基幹	水田一年生雑草	6上	ウエスフロアブル	3	3	水田一年生雑草	6上	ウエスフロアブル	3	3
	臨機	水田一年生雑草 水田一年生雑草 一年生雑草	5下 5下 4中	エリジャンソ乳剤 ソルネット粒剤 クリンチャーEW	1 1 1	1	水田一年生雑草 水田一年生雑草 一年生雑草	5下 5下 4中	エリジャンソ乳剤 ソルネット粒剤 クリンチャーEW	1 1 1	1
植物成長調整剤	基幹										
合計	基幹					6					6
	臨機					5					5
	計	—		—	A→	11	—		—	A→	11
(参考)慣行レベル		—		—	B→	22	—		—	B→	22
削減率 (B-A)/B		—		—		50%	—		—		50%

[備考]

①カメムシ・いもち病の防除は基幹を1回とし、発生が予測される場合やすくい取りにより発生確認された場合は臨機防除を行う。

農薬の使用パターンが複数になる場合は、
パターン別に整理すること。

注1) 使用時期は各項目ごとに時系列に記入すること。
注2) 同一農薬であってもまとめて記入しないこと。
注3) 本表には、「北のクリーン 農産物表示制度生産集団登録基準」別表3-1の2の(1)の①～③に掲げる農薬は記入しない。
注4) 化学合成農薬の商品名は、剤型別(粒剤、乳剤等)を記入すること。
注5) 変更承認申請の場合は、新たに栽培基準に定めるものについて「成分」、「対象作物」、「適用病害虫・雑草」、「使用量」、「使用時期」、「使用回数」、「使用方法」等が確認できるものを添付すること。
注6) 備考欄には各化学合成農薬の使用回数の補足事項について記載すること。
注7) 変更承認申請の場合の変更前栽培基準欄には、当該表示制度で登録されている基準、新規登録申請の場合は前年実績を記入すること。

② 化学合成農薬以外の農薬の使用回数(登録基準の別表3-1の2の(1)の①～③の農薬)

項 目	計 画			変更前栽培基準(または前年実績)		
	対象病害虫等名	商品名	種 別	対象病害虫等名	商品名	種 別
殺虫剤						
殺菌剤	ばか苗・苗立枯病 ばか苗・苗立枯病 いもち病	エコホープ エコホープDJ ダブルカットKフロアブル	抗生物質 抗生物質 抗生物質	ばか苗・苗立枯病 ばか苗・苗立枯病 いもち病	エコホープ エコホープDJ ダブルカットKフロアブル	抗生物質 抗生物質 抗生物質

注1) 種別欄には「天敵昆虫」「微生物農薬」等を記入するものとする。
注2) 化学合成農薬との混合剤の種別欄は、化学合成農薬以外の農薬の種別(「天敵昆虫」「微生物農薬」等)を記入する。
注3) 変更承認申請の場合は、新たに栽培基準に定めるものについて「成分」、「対象作物」、「適用病害虫・雑草」、「使用量」、「使用時期」、「使用回数」、「使用方法」等が確認できるものを添付すること。
注4) 変更承認の場合の変更前栽培基準欄には、当該表示制度で登録されている基準、新規登録申請の場合は前年実績を記入すること。

(別紙2)

市町村クリーン農業推進協議会等構成組織一覧(記載例)

〇〇〇〇町クリーン農業推進協議会

組 織 名	役 職	氏 名	協議会での職
〇〇〇農業協同組合	代表理事組合 長	〇〇〇〇	(副会長)
〇〇〇農業協同組合	営農販売部長	〇〇〇〇〇	
〇〇〇農業協同組合	米穀生産課長	〇〇〇〇	
〇〇〇農業協同組合	園芸販売課長	〇〇〇〇	
〇〇〇農業協同組合	営農指導部長	〇〇〇〇〇〇	
	営農指導課長	〇〇〇〇	
〇〇〇〇農産流通協議会	代表取締役	〇〇〇〇	
〇〇地域生産法人	会長	〇〇〇	
ホクレン〇〇〇支所	米麦農産課長	〇〇〇〇	
ホクレン〇〇〇支所	青果課長	〇〇〇〇	
〇〇〇〇農業改良普及セ ンター	所長	〇〇〇〇〇	
〇〇〇〇農業改良普及セ ンター	有機・クリーン 農業担当係長	〇〇〇〇	
〇〇〇〇町農業共済組合	理事長	〇〇〇	
〇〇〇〇町農業委員会	会長	〇〇〇〇	
〇〇〇〇町	町長	〇〇〇〇	(会長)
〇〇〇〇町産業振興課	課長	〇〇〇〇	(事務局長)
〇〇〇〇町産業振興課	振興係長	〇〇〇〇	

(別紙3)

市町村クリーン農業推進協議会等における協議経過(記載例)

〇〇〇町クリーン農業推進協議会

項 目	
令和〇〇年〇〇月〇〇日 ・場所 〇〇センター会議室 ・協議者 役場～〇〇他2名 普及センター～〇〇 JA～〇〇他3名 〇〇生産法人～〇〇 ホクレン～〇〇 農産流通協議会～〇〇	・新規登録集団の申請に向けた考え方の協議 ・予定集団～〇〇〇クリーン農業グループ ・作物および作型～〇〇〇、露地・普通栽培 ・構成員～〇〇人 ・実績要件の確認方法など～ ①要件 全員がエコファーマーを取得しており、1年前から YES ! clean 栽培基準をクリアーしている。 ②確認 YES ! clean 基準に基づき営農計画書を策定し、本年産の出荷時に生産履歴録で確認する。
令和〇〇年〇〇月〇〇日 ・場所 〇〇センター会議室 ・協議者 役場～〇〇他2名 普及センター～〇〇 JA～〇〇他3名 〇〇生産法人～〇〇 ホクレン～〇〇 農産流通協議会～〇〇	・実績要件の確認結果に基づく協議 ・確認数 〇〇人 ・結 果 JAおよび普及センターの巡回指導および出荷時の生産履歴録をチェックした結果、〇〇人が基準に基づき栽培できた事を確認した。 ・本年10月に、道クリーン協議会へ新規登録申請の手続きを行う事で書類作成する。 ・登録集団の規約設定、代表者、生産管理責任者、集出荷管理責任者の決定を10月上旬までに完了する。

注1) 新規登録申請においては、市町村協議会等による登録申請書の進達に至るまでの協議結果について記入する。

注2) 栽培基準変更申請においては、市町村協議会等による栽培基準変更申請書の進達決定時の協議結果について記入する。